

定例公安委員会の開催状況について

令和6年6月13日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 7月の行事予定について

7月の行事予定について報告があった。

(2) 山形駅前周辺における風俗環境浄化活動について

山形駅前周辺における風俗環境浄化活動について報告があった。

委員から、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に基づく風俗営業店への立入は、善良な風俗と清浄な風俗環境を保持するためには重要である旨の発言があった。

委員から、店舗への立入は、違法な風俗営業の防止や違法状態の是正措置のために有効であることが分かった旨の発言があったほか、情報収集を含めた実態把握に努め、違法な風俗営業を許さないという姿勢を徹底して継続していただきたい旨の発言があった。

委員から、立入対象範囲を変えながら、営業の実態把握に努めていただきたい旨の発言があった。

(3) 警察犬の運用状況等について

警察犬の運用状況等について報告があった。

委員から、直轄警察犬は29都道府県で運用しており、東北では山形県と秋田県で運用していることや、直轄警察犬を保有していない場合は、嘱託警察犬を運用し捜査活動、捜索活動等に出動していることが分かった旨の発言があった。

委員から、直轄警察犬や嘱託警察犬の運用は、活動の成果が出ており、今後も、継続して訓練に励んでいただきたい旨の発言があったほか、現在の直轄警察犬の頭数や訓練手の人数で不足していないかとの質問があった。

刑事部長から、直轄警察犬と嘱託警察犬を組み合わせながら運用しており、適切な頭数であり、山形県警察では、訓練手が直轄警察犬と同じ敷地で寝食を共にするという山形県独自の飼育、訓練を行っている旨の説明があった。

本部長から、警察犬は、概ね10年を目安に交代と言われているが、2頭のうち1頭が交代期を迎えており、後任犬の選定は、訓練手との兼ね合いがあることが課題の一つである旨の発言があった。

委員から、行方不明者の捜索等には、直轄警察犬、嘱託警察犬の力が発揮される場面があると思うことから、その場面に備えて訓練を継続していただきたい旨の発言があった。

(4) 死亡事故抑止に向けた対策の推進状況等について～交通死亡事故防止対策プロジェクトチームによる対策の効果等～

死亡事故抑止に向けた対策の推進状況等について報告があった。

委員から、交通死亡事故の発生傾向等を踏まえた交通取締りを実施することによって交通事故死者数が減ったということは、プロジェクトチーム創設の効果が出ており高く評価できる旨の発言があった。

委員から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、人流の活発化による交通量の増加に伴い交通死亡事故が増加に転じた中で、交通死亡事故を防止するプロジェクトチームをタイミング良く立ち上げ効果を上げたことは好事例である旨の発言があった。

委員から、交通死亡事故抑止のために、プロジェクトチームによる分析結果を用いて交通取締りを実施している旨を、しっかりと広報して欲しい旨の発言があった。

(5) 「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会の開催について

「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会の開催について報告があった。

委員から、関係機関担当者と横のつながりをつくることは、テロの未然防止にとどまらず様々な場面で活かされるものだとして期待している旨の発言があった。

委員から、「テロを許さない街づくり」のためには、警察だけではなく地域社会全体として民間のコミュニティも含めて協力することが重要である旨の発言があった。

委員から、「サイバー攻撃の現状と対策」の講演内容を教えて欲しい旨の発言があった。

(6) 警察本部代替施設用回線の変更について

警察本部代替施設用回線の変更について説明があった。

委員から、通信回線網のバックアップ体制の確保というのは重要であり、東日本大震災の際は、中継装置が無事で障害を受けなかったと説明を受け感心したことを覚えている旨の発言があった。

委員から、通信手段の確保は災害発生時に大変重要であるので、計画どおり変更していただきたい旨の発言があった。

委員から、動作試験を含めてしっかりと試験を行った上で切り替えを行っていただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 審査請求の受理及び採決について
警察本部から、審査請求の受理及び採決について説明を受け、決定した。
- 運転免許行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分にかかる意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。
- 無店舗型性風俗特殊営業店への立入についての説明
警察本部から、無店舗型性風俗特殊営業店への立入について説明があった。